

オンライン処方箋の危険性と安全なサービスの見分け方

オンライン処方箋は、インターネット上で処方箋を受けられるサービスの1つです。「遠隔診療」「オンライン診療」とも呼ばれており、ビデオ通話・電話・テキストチャットなどを使った診療が行われます。

「オンライン処方箋」自体は厚生労働省が認める診療形態であり、基本的に危険性はありません。ただし、中には悪質なサービスやオンライン診療に擬態したサービスも存在します。

「オンライン処方箋おすすめクリニック10選」では、安心してオンライン処方箋を利用できるよう、5つの観点で各サービスの安全性を評価。法律に則った運営をしており、評価基準を満たすサービスを紹介しています。

安全なオンライン処方箋の見分け方

1. 医療機関の記載がある

オンライン処方箋は、「医療機関が運営するサービス」と「企業が運営するサービス」の2つに分けられます。医療機関が運営するサービスは、それぞれの公式サイト上に医師やクリニックの情報が記載されているため、不信感を抱くことなく利用できる方が多いでしょう。一方で、企業が運営するサービスは医師の情報が見つけにくいと、不安を抱く方も少なくありません。企業が運営するサービスを選択する場合は、提携クリニックや所属する医師の情報を確認しておく不安を払拭できます。

医療機関が運営	・エミシアクリニック ・クリニックフォア ・あしたのクリニック など
企業が運営	・スマルナ ・メデリピル ・レバクリ など

2. Webサイト上に特定商取引法に基づく表記がある

「特定商取引法に基づく表記」とは、通信販売での消費者トラブルを未然に防ぐための表記です。主に、支払い方法や手数料、定期便の解約に関する事項など、安心してオンライン処方箋を利用するために必要な情報が記載されています。オンライン診療は薬の電子商取引に該当することから、[特定商取引法](#)の対象です。記載のあるサイトはきちんと法律を守っているため、信頼できると言えるでしょう。

3.「オンライン診療研修」を受けた医師が診療を行っている

オンライン処方を行う医師には、[オンライン診療研修](#)を受けることが義務付けられています。オンライン診療研修は、指針や情報通信機器の使用、情報セキュリティ等に関する知識の習得を目的として行われる研修のことです。

4.医師による診察が行われている

診察なしでの処方方は違法となるため、医師の診察が行われているのかは必ず確認すべきです。厚生労働省は「[情報通信機器を用いた診療（いわゆる「遠隔診療」）について](#)」において、「診察」を以下のように定義しています。

問診、視診、触診、聴診その他手段の如何を問わないが、現代医学から見て、疾病に対して一応の診断を下し得る程度のもの

5.未承認医薬品等に関する表記がある

海外製の処方など「未承認医薬品」に該当する処方の処方を行っているサービスでは、未承認医薬品等に関する表記が義務付けられています。

▼未承認医薬品の例

- エラワン(アフターピル)
- マドンナ(アフターピル)
- ジョセイ(アフターピル)
- セラゼッタ(ミニピル)
- 海外製マーベロン

■条件を満たす安全なオンライン処方サービス

・スマルナ

医療機関	代官山クリニックなど
特定商取引法に基づく表記	https://smaluna.com/commercial/
オンライン診療研修	実施の記載あり
医師による診察	実施

	<ul style="list-style-type: none"> ・テキストチャット ・ビデオ通話
未承認医薬品等に関する表記	なし ※承認薬を取扱

・エミシアクリニック

医療機関	エミシアクリニック
特定商取引法に基づく表記	https://emishia-clinic.jp/onlinerule/ ※オンライン診療利用規約
オンライン診療研修	記載なし
医師による診察	実施 <ul style="list-style-type: none"> ・テキストチャット ・電話
未承認医薬品等に関する表記	一部記載あり

・メデリピル

医療機関	目黒ウェルネスクリニック
特定商取引法に基づく表記	https://mederi.jp/legal/
オンライン診療研修	記載なし
医師による診察	実施 <ul style="list-style-type: none"> ・電話 ・ビデオ通話
未承認医薬品等に関する表記	記載あり

・レバクリ

医療機関	リフィルクリニック
特定商取引法に基づく表記	https://levcli.jp/legal/
オンライン診療研修	記載なし
医師による診察	実施 <ul style="list-style-type: none"> ・ビデオ通話

	・電話
未承認医薬品等に関する表記	記載なし ※承認薬を取扱

・マイピルオンライン

医療機関	六本木ウィメンズヘルスクリニック
特定商取引法に基づく表記	https://mypill.online/law.html
オンライン診療研修	記載なし
医師による診察	実施 ・電話
未承認医薬品等に関する表記	一部記載

・クリニックフォア

医療機関	クリニックフォア
特定商取引法に基づく表記	https://miniapp.clinicfor.life/help/terms_of_conditions/clinic_for_terms_of_condition
オンライン診療研修	記載あり
医師による診察	実施 ・ビデオ通話
未承認医薬品等に関する表記	記載あり

・エニピル

医療機関	ON-CLINIC
特定商取引法に基づく表記	https://any-pill.com/guide/specified-commercial/
オンライン診療研修	記載あり
医師による診察	実施 ・電話
未承認医薬品等に関する表記	記載あり

・Oops WOMB

医療機関	東京メモリアルクリニック
特定商取引法に基づく表記	https://oops-jp.com/womb/law/
オンライン診療研修	記載なし
医師による診察	実施 ・電話
未承認医薬品等に関する表記	なし ※承認薬を取扱

■オンラインピル処方に関するよくある質問

Q.チャットのみでのオンラインピル処方は違法ですか？

「オンライン診療の適切な実施に関する指針」に、診察方法についての具体的な定めはありません。しかし、チャットのみを用いたオンラインピル処方は、医師法20条に違反する恐れがあると注意喚起する声もあります。

参考:[オンライン診療における法律的な注意点とは？](#)

Q.診察なしでのオンラインピル処方を受けることはできますか？

診察なしで、オンラインピル処方を受けることはできません。

Q.オンラインピル処方に危険性はありますか？

オンラインピル処方サービス自体に、危険性はありません。しかし、ピルの服用には副作用のリスクがあります。